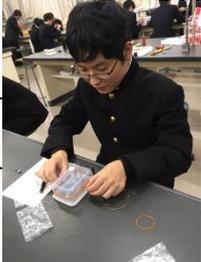


化学部

化学部は月に一度、金沢近隣の河川水域(犀川、伏見川、河北潟、木場潟)の水質調査を男子3人、女子5人の計8人で行っている。調査方法はCOD法、BOD法を用い、採水した水の汚れを調査している。この調査は約23年間の伝統がある。化学をまだ履修していない1年生も実験手法や情報処理、プレゼンの力を上達させた。今後も、研究会やディスカッションを行っていかうと思っている。

水質調査の他にも様々な発表や見学会、セミナーの参加、二水祭での実験コーナーなども行い、化学の楽しさを学ぶとともに、伝える活動を行っている。

【平成30年度の成果】

4月	部員7名(1年生5名、2年生2名)で今年度の活動を開始	
5月	20日 工場排水サンプリング、BOD測定	
6月	1日 「高校生のための春の実験・実習セミナー」(石川県立大学) 石川県立大学を会場として県内210人余りの高校生が集まった。本校は7名参加。大学の先生の講義、大学で取り組んでいる研究のうち8つの実験テーマに大学生のサポートも得て一日中かけて取り組んだ。二水生は「地理情報システムを使った絶滅危惧種トキの生態調査」「バクテリオファージのDNA切断と電気泳動による分離実験」「クリーンベンチを使ったランの無菌播種実験」「高品質野菜の育成のための接ぎ木技術演習」に他校生とともに参加した。実際に使われている実験装置を使い、大学で取り組まれている高度な内容の実験を大学生や大学院生に教わりながら取り組み、自分で課題を見つけて答えを解明していく大学での研究の魅力に浸ることができた。	
7月	14～15日 二水祭にて実験教室(紙コップを使った光の万華鏡)	
8月	18日 「高校生のための施設見学会」(北陸大学薬用植物園、生薬標本室、実験科学棟) 1,2年生7人が参加。北陸大学薬学部研究施設を訪問し、全国的に有名な薬草園の貴重な薬草や有毒植物、生薬標本室の、驚くような動植物から得られた薬品の見学をさせていただいた。薬用植物を粉碎・調合してカレーパウダーを完成させる実験では、自分たちで見たこともないような生薬を使って身近な食品を調合することができた。県内の他校生とともに、大学の実物を取り扱う研究・実験に触れ、大変有意義な時間を過ごせた。	
9月	犀川水域サンプリング、COD測定	
11月	9日 「高校生のための秋の実験・実習セミナー」(小松高校) 8人参加 小松高校を会場として県内180人ほどの高校1,2年生が全国から有名な先生をお招きして「あかりと文明」「世界最初のモーターの作成」「大地から考える!地球の科学」「コンピュータで観る生命の分子・原子の世界」の4テーマから午前・午後1テーマずつ各2テーマに参加した。どれも、経験したことのない未知の世界の観察や実験で、一日があつという間だった。 23日 工場排水COD測定。	
12月	23日 「第32回石川地区中学・高校生徒化学研究発表会」(石川県文教会館) 7人参加 県内10校(中学校3校、高校7校)の12件の化学研究発表が、発表校のほか金沢大学や各学校教員、金沢大学生、その他有識者の参加の中行われた。二水高校は「犀川水系の水質調査(その22)」を発表した。二水高校化学部の歴史ある研究成果に加え、昨年度の課題の成果も盛り込み発表した。	
3月	20日 オレンジコンサート	

今度とも二水高校化学部をよろしくお願ひします!!